

事業名	④ 教育センター事業	担当部署	教育委員会・学校教育課・学校教育担当
-----	------------	------	--------------------

市の取組への評価・課題	具体的な対応策・提案	コーディネーターによる意見のまとめ
<p>【評価○】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒の学力定着・向上、教員の資質向上、問題を持つ子供への支援等のためには重要かつ必要な事業。 ・演劇、音楽鑑賞、親子の読書感文、理科自由研究発表会、書初め大会等、情操教育の面からも有効性は高い。 ・多くの取り組みが多数用意されているのは素晴らしい。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・盛り沢山のカリキュラム、活発な委員会活動や研修活動等を鑑みると、現場の教員の負担は大きい。 ・研修内容は教員側のニーズと合致しているか。また、教員の意欲向上につながっているか。 ・効果の検証・把握がなされ、事業計画に反映されているか。また、毎年の事業内容が形骸化していないか。 ・「教育首都つる」として、事業に対しての発信力が弱いのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現場の教員の意見に基づき、負担感の少ない事業・研修に内容を見直すべき。いじめ・自殺問題、コミュニケーションのスキルアップ、教員のメンタルヘルス等をメインにカリキュラムのスリム化を図ってはどうか。 ・事業で行っていることはどれも素晴らしいが、より良くしていくためには余裕がないと生まれない。事業を増やすことだけでなく減らすこともとても大切であり、効率的に行えるようにするべきである。 ・この事業に実際に参加している教員の声をきき、何を学びたいのか、何に困っているか等を確認し、それに合わせた研修内容を考えてみてはどうか。 ・教員にとっても、子どもにとっても、「やらなきゃいけない」「やらされている」という感覚を減らせるよう、自分でより学びたいことを選べるシステムを導入するのはどうか。 ・一旦KPIを教員の満足度等に定め、事業の見直しを行ってみてはどうか。 ・SAT等に参加している学生の意見を取り入れて、新任教員への研修を組み立てるのもよいのではないだろうか。 ・教員が忙しいことは重々承知であるが、生きにくさを感じている子供たちがいることも現状である。そういった子どもたちが、学校を経由して社会に出ていくためには、教員と地域等の繋がりをより強くしていくことも必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・担当からの現状の課題提示が乏しく、議論がしにくい場面があった。 ・教員のニーズ調査について、アンケートですべてが決まるわけではないが、そういった地道なものから、どれだけの効果があるのかを考えることは大事である。 ・一度立ち止まって、事業内容の見直しを図ってみることも重要である。